

令和7年度東京都立六本木高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「読むこと」の指導の充実 ・「書くこと」の指導の充実	・少人数授業による、生徒の学習段階に応じた「読むこと」の指導 ・スモールステップによる、「書くこと」への苦手意識を払しょくするための指導	・「論理国語」、「文学国語」による、発展的な文章を読み取ることを重視した授業の実践。 ・「古典に親しむ」や「基礎国語」など、本校生徒の学習段階に合った学校設定科目の設置と、それらの改善へ向けた指導方法の開発
地理歴史 公民	・基礎基本の定着 ・思考し自己の意見を築く態度の育成 ・多様な学びの実現	・ICT機器などを活用し、よりわかりやすく理解できる授業を展開する。 ・資料理解や問題解決を通じ、思考する機会を設ける。 ・教科指導担当間の授業実践内容や状況などの情報共有を通じた改善・充実の実施	・高卒認定試験や各検定に対応するための機会の充実 ・スタディサブリの活用も含め、発展的学習の実施 ・TeamsやO365の活用を充実させ、生徒に様々な学習機会を設ける。
数学	・基礎力の向上 ・数学的活動を通じた事象の考察の充実	・授業内での学びなおしの充実 ・ICT機器を活用した、わかりやすく効率が良い授業の実践 ・問題解決型の授業における、考察や体験を伴う活動の実施	・数学検定の校内実施と受験対策 ・教科会における授業実践の報告と情報の共有 ・多様な進路選択に対応するためのフォローアップの充実
理科	・「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・観察、実験などを行い、探究活動を通じ、問題解決の力を養う。	・理科それぞれの科目において、観察、実験について主体的に計画させ、実行し、深い学びを実現させる。
保健体育	・「できた」と感じる実技指導の充実。「健康・体力」についての知識の習得。	・スモールステップ法を用い、着実に技能の習得を図る。 ・明確な根拠をもった方法や技術を用いて、理解に結びつける。	・体育、保健、スポーツ専攻において、技術指導や観察、グループ協議を行う課程の中で生徒の能力や個性を見出し、それぞれの科目に適した表現活動をさせる。
芸術	・自己表現力の伸長。 ・伝統文化への理解。	・少人数授業によって、生徒それぞれの個性に応じた表現を引き出す。 ・鑑賞を通じて、作者の思いに触れさせ文化への理解を高める。	・音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰの必修修科目において生徒の個性を見出し、それぞれの科目に適した表現活動をさせる。
外国語	・外国語(英語)の学習を通じて、考えや気持ちなどを、互いに伝え合うことで、社会や他者と適切に関わろうとすること。	・過去に不登校経験のある生徒が多数在籍している、他者との関わりに不安を持つ生徒も多いので、基礎基本の定着と授業のペアワークやグループワークを丁寧に行う。	・ペアワークやグループワークを通じて授業内容の理解を深め、実践を図り、理解を深める。加えて、生徒同士、担当教員との適切な関わりにつなげる。
家庭	・生活に関係する課題を探究・考察し、実際に活用できるような知識・技能を向上。	・経験や体験を共有し、様々な状況に対応ができるよう探究することで、多様な価値観を身に付けさせる。	・家庭基礎において、生活の基礎基本的な知識を身につ付ける。 ・フードデザイン、保育基礎、服飾手芸による発展的・技術的な授業の実践。
情報	・適切かつ効果的なコミュニケーション ・課題解決につながる実習の充実	・教科書選定時に課題解決型実習を多く採用しているものを選択 ・ICTの効果的な活用を目指した課題解決実習教材の作成と実践	・情報Ⅰ・情報Ⅱ・情報システムのプログラミングを通じたプログラミング教育の充実 ・総合学科の特性を活かした専門的な講座の設置と実践